

平成 30 年 3 月 1 日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

1. 適用拡大 平成 30 年 2 月 28 日付 (4 件)

(1)アプロードフロアブル

登録第 19923 号

〈1〉適用内容の変更

作物名の追加:ねぎ、にら/ネダニ類、500~1000 倍、収穫 14 日前まで、1 回、株元灌注
くるみ/カイラムシ類幼虫、1000 倍、収穫 7 日前まで、2 回以内

【追加】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	グプロフェジンを含む農薬の総使用回数
ねぎ にら	ネダニ類	500~1000 倍	1~3ℓ/m ²	収穫 14 日前 まで	1 回	株元灌注	1 回
くるみ	カイラムシ類幼虫	1000 倍	200~700ℓ /10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内

〈2〉注意事項の変更

【追加】注意事項に以下の項目を追加

- ・にらに対して、年間複数回収穫を行う作型において本剤を連続で使用すると薬害を生じる場合があるので注意すること。
- ・葉ねぎに対して、本剤を使用すると薬害を生じる場合があるので、事前に薬害の有無を確認してから使用すること。

(2)日農モスピラン粒剤

登録第 19115 号

①適用病害虫名の追加: かんきつ(苗木)/アブラムシ類(10~20 g/樹)

②アセチプロトを含む農薬の総使用回数変更:

すいか/4 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)

⇒4 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)

かぼちゃ/3 回以内(は種時または定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)

⇒3 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)

わけぎ、あさつき/4 回以内(土壌混和は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)

⇒4 回以内(土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)

たばこ/3 回以内(但し定植後は 2 回以内)⇒3 回以内(定植後は 2 回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプロトを含む農薬の総使用回数	
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ アブラムシ類	10~20g/樹	育苗期	1 回	株元散布	1 回	
すいか	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	4 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)	
かぼちゃ			は種時		播溝土壌混和	3 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)	
わけぎ あさつき	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	4 回以内(土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
たばこ	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時		株元散布		3 回以内(定植後は 2 回以内)
		0.25 g/株	育苗期 後半				

* 注意事項の変更はありません。

(3)日農モスピランSL液剤

登録第 20642 号

①作物名の追加: ねぎ/アザミウマ類、2000 倍、収穫 7 日前まで、3 回以内

②適用病害虫名の追加: 麦類/ムギキモグリバエ(4000 倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプロトを含む農薬の総使用回数
麦類	アブラムシ類	4000~ 6000 倍	60~1500 /10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	ムギキモグリバエ	4000 倍					
ねぎ	アザミウマ類	2000 倍	100~3000 /10a		3 回以内		3 回以内(は種時の土壌混和は 1 回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計 1 回以内)

* 注意事項の変更はありません。

(4)日農モスピラン顆粒水溶剤

登録第 22584 号

- ①作物名の追加:オリーブ/カメシ類、2000 倍、収穫 7 日前まで、1 回
りんどう/アザミウマ類(2000 倍)、アブラムシ類、リトウホソハマキ(4000 倍)、発生初期、5 回以内
- ②作物名の変更:「花き類・観葉植物(ストックを除く)」⇒「花き類・観葉植物(ストック、りんどうを除く)」
- ③適用病害虫名の追加:もも/モモチョッキリゾウムシ(4000 倍)
ネクタリン/モモチョッキリゾウムシ、コガネムシ類成虫(4000 倍)、
アマランサス(茎葉)/シロビノメイガ(8000 倍)
- ④アセチプロドを含む農薬の総使用回数変更:
すいか/4 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)
⇒4 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)
かぼちゃ/3 回以内(は種時または定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
⇒3 回以内(粒剤の定植時までの処理は 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
たばこ/3 回以内(但し定植後は 2 回以内)⇒3 回以内(定植後は 2 回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アセチプロドを含む 農薬の総使用回数
もも	コスカシバ、カイガラムシ類	2000 倍	200~700g /10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	モモチョッキリゾウムシ	4000 倍					
ネクタリン	アブラムシ類、モモハマグリガ、 シクイムシ類、アザミウマ類、 カメシ類、コガネムシ類成虫	2000~ 4000 倍		収穫 3 日前 まで			
	モモチョッキリゾウムシ	4000 倍					
オリーブ	カメシ類	2000 倍	100~300g /10a	収穫 7 日前 まで	1 回		1 回
アマランサス (茎葉)	シロビノメイガ	8000 倍	100~300g /10a	収穫 3 日前 まで	5 回以内		5 回以内
花き類・観葉 植物(ストック、り んどうを除く)	アブラムシ類	4000 倍					
	アザミウマ類	2000 倍	100~700g /10a	発生初期			
りんどう	アブラムシ類、リトウホソハマキ	4000 倍					
すいか	コナジラミ類、ウリノメイガ	2000 倍	100~300g /10a	収穫 3 日前 まで	3 回以内		4 回以内(粒剤の定植時 までの処理は 1 回以 内、散布、くん煙及び定 植後の株元散布は合 計 3 回以内)
	アブラムシ類、アザミウマ類	2000~ 4000 倍					
	ウリハムシ	4000 倍					
かぼちゃ	アブラムシ類	2000~ 4000 倍	25~180g /10a	収穫前日 まで	2 回以内	3 回以内(粒剤の定植時 までの処理は 1 回以 内、散布及び定植後の 株元散布は合計 2 回以 内)	
	かぼちゃミバエ	2000 倍					
	ウリハムシ	4000 倍					
たばこ	アブラムシ類	2000~ 4000 倍	25~180g /10a	収穫 10 日前 まで	3 回以内(定植後は 2 回 以内)		

* 注意事項の変更はありません。

2. 使用制限 平成 30 年 2 月 28 日付 (1 件)

・ダニトロンフロアブル

登録第 17801 号

使用時期の変更:りんご/収穫 14 日前まで⇒収穫 30 日前まで
 なし/収穫 7 日前まで⇒収穫 14 日前まで
 ぶどう/収穫 14 日前まで⇒収穫 30 日前まで
 トマト、ミニトマト/収穫前日まで⇒収穫開始 14 日前まで

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメトを含む農薬の総使用回数
りんご	リンゴハダニ ナシハダニ	1000～2000 倍	200～700ℓ /10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	1 回
	リンゴサビダニ	2000 倍		収穫 14 日前 まで			
なし	ハダニ類 ニセナシサビダニ	1000～2000 倍		収穫 30 日前 まで			
ぶどう	ハダニ類	1000～2000 倍	150～300ℓ /10a	収穫開始 14 日前まで	3 回 以内		3 回以内
	ブドウサビダニ	2000 倍					
トマト ミニトマト	トマトサビダニ	1000 倍					
	タバコナジミダシ類(シルバ ーリーフナジミを含む)	1000～2000 倍					

* 注意事項の変更はありません。

以上